

まるい校舎

加古川市立川西小学校

校長室だより 第21号

令和6年1月26日

様々な体験活動を充実させる（6）



縦割り集団活動「全校外遊び」(1月25日)

今年は冬休み中から1月としては暖かく穏やかな天気が続いていましたが、大寒を過ぎてからの1週間は、寒波もあって、この季節らしい冷え込みが続きました。縦割り集団活動を実施した1月25日の朝も、屋外の気温は2℃程と冷え込んでいましたが、日差しが当たる場所はほんのり暖かくて「外遊び日和」でした。



「全校外遊び」は、年間を通して実施している縦割り集団による活動のひとつです。12月に実施予定でしたが、2学期末に校内でインフルエンザが流行っていたために延期されていました。子ども達は、グループごとに分かれて「鬼ごっこ」「ドッジボール」「ドッジビー」など、高学年が中心となって話し合っただけ決めた遊びを、運動場いっぱい広がって楽しみました。

縦割り集団（異年齢集団）の中で高学年児童が低学年児童に接する際、自然に「思いやり」の気持ちを表現する場面が数多く見られます。例えば、「ドッジボールで、低学年の子には緩いボールを投げる。」とか「鬼ごっこで、低学年の子が追いかけてきたらゆっくり走る。」などです。そんな高学年児童の姿を見た低学年児童たちは、自然と年下の子に優しく接するようになります。

今回の「全校外遊び」は、20分間程の活動でしたが、授業では得られない「学び」の時間であったと考えています。

「教えるのではなく、遊びの中で見たり感じたりしながら

『思いやり』を自然に身に付けさせる。」

川西小では、これからも縦割り集団活動に取り組み、子どもたちの成長をサポートしていきます。